

ポスター発表 A

9月24日(土) 第3エリア・G会場

4. グループホーム (13:30~14:18)

座長：内出 幸美 (社会福祉法人典人会)

演題抄録掲載ページ→p.321-324

4-1

「いらっしゃい！」の笑顔がでるまでの日々

発表者：八田 桂子 ((有) 創生活環境運営 GH ひだまりの里ささか)

4-2

グループホームにおいて終末期ケアの継続的省察を行うことの効果の検討

発表者：平松万由子 (三重大学医学部看護学科)

4-3

グループホームにおける、ひもときシートを使った研修でのスタッフの気持ちの変化

発表者：伊藤 芳枝 (グループホームやすらぎの里梅森坂)

4-4

グループホームにおける看取りを通しての介護職員の意識の変化

発表者：濱口 春江 (医療法人清翠会まきグループホーム)

4-5

グループホームにおける終末期ケアの実践を通じた学び

発表者：大淵 律子 (三重大学医学部看護学科)

4-6

認知症グループホームにおけるタッピング・タッチ導入の試み

発表者：伊藤 薫 (三重県立看護大学)

4-7

医療連携とグループホームにおけるケア生活の QOL の向上と今後の課題

発表者：清川ひとみ (グループホームはる仁川)

4-8

一日の業務を職員間の“握手”からスタートさせる取組み

発表者：木村 孝子 (鹿児島純心女子大学看護栄養学部看護学科)

9. 合併症・身体ケア (13:30~14:00)

座長：桑田美代子 (青梅慶友病院)

演題抄録掲載ページ→p.340-342

9-1

ココアを使用した経管栄養投与法の検討

発表者：安念 大輔 (医療法人社団旭川圭泉会病院)

9-2

ブリストール便性スケールを導入して排便に関する意識改革を考える

発表者：渡邊 浩美 (静岡県沼津市特別養護老人ホームぬまづホーム)

9-3

外気浴を行うことで対応困難な頭痛が改善した事例

発表者：水谷 優子 (あいち福祉医療専門学校)

9-4

急性期病院における認知症患者の離床時間拡大を目指す取り組みについての報告と課題

発表者：小林 理英（独立行政法人国立病院機構善通寺病院）

9-5

口腔ケアによって発語を取り戻した症例

発表者：松江 志保（医療法人小島病院）

19. 家族（13：30～14：24）

座長：新名 理恵（SINCA 株式会社）

演題抄録掲載ページ→p.380-384

19-1

「家族の不安」に基づいたせん妄パンフレットの導入

発表者：黒田 恵子（製鉄記念広畑病院）

19-2

「介護家族カウンセリング」の有用性について

発表者：松本 眞美（武蔵野大学大学院人間学研究科人間学専攻）

19-3

レビー小体型認知症の父親を在宅で介護していた息子の思い

発表者：長谷川千尋（医療法人 PIA ナカムラ病院）

19-4

わかっている、でも、どうしたらいい？

発表者：中島 佳子

19-5

家族教室での相談内容の実際

発表者：藤崎あかり（国立長寿医療研究センター）

19-6

家族支援プログラムが地域活動団体形成に至るプロセスの検討

発表者：旭 多貴子（公益社団法人認知症の人と家族の会愛知県支部）

19-7

介護者支援の法的基盤整備に向けた家族会の試み③

発表者：尾之内直美（公益社団法人認知症の人と家族の会愛知県支部）

19-8

介護者支援の法的基盤整備に向けた家族会の試み④

発表者：湯原 悦子（日本福祉大学社会福祉学部）

19-9

介護保険サービスが家族介護者の負担軽減に与える効果の分析

発表者：中川 善典（高知工科大学マネジメント学部）

25. 若年性認知症 (13:30~14:12)

座長：沖田 裕子 (大阪市社会福祉研修・情報センター)

演題抄録掲載ページ→p.406-409

25-1

若年性アルツハイマー A 氏とご家族への支援

発表者：有賀 祐子 (NPO 法人やじろベー宅老所もくれん)

25-2

若年認知症の社会参加活動における「本人の努力過程と意識変化」に関する地域共生と支援

発表者：比留間ちづ子 (若年認知症社会参加支援センタージョイント)

25-3

若年認知症の人の居場所づくり

発表者：市村麻莉恵 (デイサービスモアサロン福寿)

25-4

若年認知症の人の就労・退職にかかわる課題

発表者：平野 憲子 (北海道若年認知症の人と家族の会)

25-5

若年認知症の地域支援組織間広域ネットワーク事業の展開

発表者：干場 功 (NPO 法人若年認知症サポートセンター)

25-6

若年認知症家族介護者への健康支援活動

発表者：青山美紀子 (NPO 法人若年認知症サポートセンター)

25-7

就労型・地域型活動に参加する若年認知症者の「活動」への思い

発表者：千葉 京子 (日本赤十字看護大学)

28. アセスメント・スケール開発 (13:30~14:00)

座長：大島 憲子 (認知症介護研究・研修東京センター)

演題抄録掲載ページ→p.418-420

28-1

五感と Mapping を応用した新しい認知症高齢者のケアコミュニケーションの試み

発表者：八森 淳 ((社) 地域医療振興協会伊東市介護老人保健施設みはらし)

28-2

在宅で観察されたケアに関する出来事

発表者：内田 達二 (DCM 東日本交流会)

28-3

施設で観察されたケアに関する出来事

発表者：村田 康子 (DCM 東日本交流会)

28-4

多職種間連携に必要な在宅認知症高齢者と家族に関するアセスメント・評価項目の検討

発表者：梶井 文子 (聖路加看護大学老年看護学)

28-5

認知機能障害に伴う高齢者の日常生活状態評価表の開発

発表者：今井 幸充 (日本社会事業大学大学院)